

# とっとり 県議会だより

編集・発行…鳥取県議会

県議会広報紙…年4回発行 平成25年3月1日発行

平成24年11月定例会

No.003

Nov.  
11月  
議会

📌 主な記事 Contents

決算審査特別委員会	2p
代表質問	3p
一般質問	3~6p
国際交流	6p
議決結果	7p
委員会活動ほか	8p



12月17日開催の決算審査特別委員会

## 11月定例会の概要

11月定例会は11月27日に開会。平井知事が経済雇用対策や違法ドラッグ対策の事業などからなる総額34億9,100万円の平成24年度一般会計補正予算案や県営住宅の設置及び管理に関する条例の改正案など31議案を提案した。

会期中に総選挙の公示日と投票日がある異例の日程だったが、鳥取県議会自由民主党が代表質問に立ち、24人の議員が一般質問。再生可能エネルギー導入や中山間地域対策など県政の幅広い分野で知事らと熱のこもった論戦を展開した。

9月定例会で継続審査となった「ととりの豊かで良質な地下水の持続的な利用に関する条例案」は、閉会中に所管の福祉生活病院常任委員会が参考人招致や県内外調査などを実施。本定例会で地下水の利用より保全に力点を置く方向で意見が一致したことから、知事は委員会審議を尊重して条例案を撤回。条例名に「保全」と明記するなどの修正を加え、再提案した。

最終日の12月18日に、同条例案や平成24年度一般会計補正予算案、平成23年度決算認定、教育委員等の人事案件など知事提出案件35議案、地方自治法改正に伴う県議会委員会条例等の改正案と意見書の議員提出議案4件をいずれも可決して閉会した。

## 議会改革ランキング躍進

鳥取県議会は議会改革推進会議を設け、議会基本条例の制定や議案に対する議員ごとの賛否をネット上で公開するなど機能強化と情報公開に努めてきたが、専門情報誌「日経グローカル」と早稲田大学マニフェスト研究所（所長・北川正恭早大大学院教授）の今年度の議会改革度調査で、いずれも総合2位にランキングされた。

日経グローカルの調査は47都道府県議会が対象。前回の調査では21位だった。分野別では、本会議と委員会の審議をネット上での公開などが評価され情報公開部門で1位。運営改善部門で2位、住民参加部門で9位。鳥取県議会の取り組みは、同誌の特集「先進議会ルポ」として、伊藤美都夫議長へのインタビューを折り込みながら、紹介されている。

同研究所のランキングも前回の63位から急上昇した。1位は昨年に引き続き三重県議会。3位は福島県会津若松市議会。県内から100位以内に入ったのは県議会の他、13位の北栄町議会だけだった。昨年6～9月に全国1,789地方議会に対してアンケートを実施し、1,371議会の回答を集計したという。分野別では議事録のネット上での公開などが評価された情報公開部門で1位、機能強化部門で5位、住民参加部門で33位。日本経済新聞などで報じられた。

議員間では「議会改革に終点はない。日本一の議会を目指して、さらなる改革に取り組もう」と話している。